

若谷 修治 議員  
市民グループ未来の会

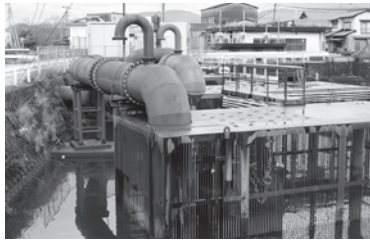


坂江水門ポンプの早急な修繕を

**Q** 坂江水門ポンプは、満潮時横津川の排水において重要な役割を果たしているとともに、横津川、不動川水系地域に住んでいる者にとって頼みの綱である。2基が破損していると思うが、早急な修繕が必要ではないか。

**A** 現在設置している4基のうち2基において、吐出配管の腐食による穴あきがあり、ポンプの稼働時に漏水が発生しています。現在のところ、排水能力に大きな影響はありませんが、今後、一層の腐食が進み、穴が拡大すれば、排水能力が低下することになるため、修繕工事を予定しています。

(建設経済部長)



手帳を活用したスケジュールリング教育を推進しては

**Q** 子供たちは、ネット利用によって睡眠時間が減るだけでなく、勉強や部活動の時間が減り、学力や体力が低下している。今しかないかけがえのない大切な時間をむだにしてはいけないことを教えるために、手帳を活用し、自分で目標を定め、計画を立て、実行することを学ばせてはどうか。

**A** 子供の将来において社会で必要とされる「時間の管理能力」や「計画力」を育てる有効な手段としてあり、「ネット問題」の対応策の一つと考えます。教育委員会としては、日課表や時間割、毎月の行事予定など日々の生活の中にある様々なスケジュールをもとに、子供が自分の目標達成に向かい、自ら考え、計画・行動できるようにする時間管理の力を身につけていくための指導を推奨していきたいと思っています。

(教育長)

質問の項目

- ・交通安全対策について
- ・不登校児童生徒の対策について
- ・中学校の部活動について
- ・交流の里 おうちごしの活用について
- ・農政大転換について

東原 章 議員  
市民グループ未来の会



農地中間管理事業の国の動向及び市としての考えは

**Q** 農地中間管理事業が県内でスタートして3年。耕作放棄地や分散した農地などの集約により、ある程度成果が出ている。もっとハードルを下げれば、まだまだ集約可能な農地はあるはずである。現在の国の動向や今後の見通し、市としての考えは。

**A** 面積が小さい、形状が悪い等耕作条件が不利なことにより貸借が進んでいない地域もあることから、国では、土地改良法の一部を改正し、所有者等の費用負担を極端に軽減するなどして基盤整備を積極的に進め、貸借の促進を図る事業が予定されています。また、農地貸借の上で妨げとなっていた相続未登記農地の取り扱いについて、要件が大幅に緩和される方向に検討されています。

現在のところ、詳細は不明ですが、今後、国の動向を注視する中、詳細が示された際には、地元説明会の開催等広く周知に努めていきたいと考えています。

(建設経済部長)

にぎわい創出事業を協賛や企業とのマッチアップで支援する考えは

**Q** にぎわい創出事業で採択された事業について、ある程度継続され、認知された事業に対して、恒例事業として協賛したり、企業などとマッチアップさせたりして支援する考えは。

**A** にぎわい創出事業の実施に当たっては、イベント開催に伴う施設の利用手続きや警備などの運営面、また団体の組織体制についても、必要があれば助言を行っています。

また、にぎわい創出の効果があがり、市の施策と合致し、継続的な実施が必要と認められる事業については、他の補助金で支援を行っており、今後とも支援していきたいと考えています。

(建設経済部長)



質問の主な項目

- ・自然災害対策について